



青木 学業優先

「独占インタビュー」部は、チームポリシーとして「大学教育とバスケットボール競技を通じて社会に貢献できる人材の育成」を掲げ、本気で学問とスポーツの両立にチャレンジしている。

模索が成長に
監督を務める経営社会学科の青木拓部准教授は、学業優先を強調する意図について「自分で解決策を見つけたらいい」と説明する。たとえば授業の課題で疑問点を調べるときは、バスケットボールで悩むのと同じように、部員が自分で解決策を見つけたらいいと説明する。監督は「部員が自分で解決策を見つけたらいい」と説明する。

憧れのヒーロー最多「桜木花道」

指定強化部員にアンケート	憧れのヒーロー
日向翔陽 7	日向翔陽 7
大空翼 8	大空翼 8
桜木花道 15	桜木花道 15
黒子のバスケ 27	黒子のバスケ 27
スラムダンク 27	スラムダンク 27



1部昇格目標
部内では、関東大学リーグ1部昇格を目標とする。リーグ1部昇格を目標とする。リーグ1部昇格を目標とする。

映像見て反省
青木監督が目下の課題を見てプレーを振り返る場面。

鈴木翔主将も賛同
「バスケット部の自覚が、良い結果につながる」

憧れのヒーロー	憧れのヒーロー
日向翔陽 7	日向翔陽 7
大空翼 8	大空翼 8
桜木花道 15	桜木花道 15
黒子のバスケ 27	黒子のバスケ 27
スラムダンク 27	スラムダンク 27

男子バスケット部 「オトン、オカン、そして…」
打田、エリック、両角
大所帯でありながら家族のような男子バスケット部をタイアップの違うリーダーがまとめている。打田洋平（経営社会学科4年、栃木・宇都宮工高）はコート内外で一家を引っ張るオトン（お父さん）だ。対するオマ・エリック・ジャガニー（同4年、高知・明徳義塾高）は昔ながらのテレビドラマに登場するオカン（お母さん）のような包容力で一家を支え、豪快なプレーとは違っ

サッカー部 「はるばる来ました」
赤嶺弘貴
部員100人を超えるサッカー部には、主に関東地方の強豪高校から学生が集まるが、中には遠路はるばるやってきたメンバーもいる。赤嶺弘貴（経営社会学科3年、沖縄・南風原高）は沖縄県那覇市の出身だ。4歳上で同じくサッカー部員だった兄、航平さんの背中を追って江戸川大学を選んだ。首都圏での一人暮らし

女子バレーボール部 「眠り姫」
久呂奈々
食堂や教室、体育館でも…。よく昼寝を目撃されるのは、久呂奈々（ここのコミュニケーション学科2年、富山第一高）だ。1日練習の1時間の体休は10分で食事を終え、残りを睡眠に当てるといふ。誰も緊張する試合直前の移動中で

EDOGAWA UNIVERSITY
EDOSEN
江戸川学園おおたかの森専門学校

2019年4月 始動。
スポーツトレーナー学科

江戸川学園おおたかの森専門学校
千葉県流山市駒木474 TEL 0120-538-505
URL http://www.edosen.jp/